

全国病児保育協議会のホームページ <http://www.byoujijoiku.ne.jp>



＝今号の目次＝

1頁 協議会メール 新会長抱負

2頁 加盟施設紹介

わんぱくこどもクリニック病児保育室ままぼ  
けっと、千野保育園病児保育室さくらんぼ、  
すくすくこどもクリニック、増田クリニック  
あひるハウス

3頁 新常任委員の抱負

4頁 県・地方支部支部長一覧

ブロック便り 近畿南ブロックから

5頁 ブロック便り 愛知ブロックから

6頁 診察室から8・リレー保育日誌8

7頁 新規加盟施設紹介

8頁 病児保育協議会発行の書籍紹介

事務局交代のお知らせ

新規加盟施設紹介

## 協議会メール

### 会長就任ごあいさつ

全国病児保育協議会 会長 木野 稔

平成18年7月の総会において、協議会会長に選出されました。何卒よろしくお願ひいたします。これまで、4期8年間と長きにわたり会長として全国の病児保育事業を推進し、協議会の発展に尽くされた、藤本保前会長のご功績を称え深く感謝を申し上げます。藤本先生には今後も常任協議員としてご指導をいただけることになっておりますので、心強い限りです。

さて、現在の日本は、人口減少を伴う本格的な少子高齢社会を迎え、一方では国や地方自治体が膨大な財政赤字をかかえており、どのような社会を目指すかという意味で大きな岐路に立っています。その中で、私達の病児保育事業は、育児において最も困った時にその環境を整え、子ども達の健やかな成長を保障するものであり、全国における本事業の発展・向上を期するという明確な目的を持つ団体です。本協議会のこれからの活動が社会に受け入れられ理解されることは、国のあるべき姿の礎になるでしょう。

2005年に始まった少子化対策『子ども・子育て応援プラン』も2年目を向かえ、病児保育事業は全国500か所から1,500箇所へと拡充される計画です。一方、時を同じくして三位一体改革の一環

として次世代育成支援対策交付金(ソフト交付金)制度が開始され、地方の特徴を加味した市町村の地域行動計画が展開されています。

厚労省は、2007年度の予算概算要求で「病児・病後児保育事業」の拡充として、保育所における病児緊急対応(保育所自園型)ができるための看護師等関連職員の配置経費を盛り込みました。これまで、乳幼児健康支援一時預かり事業においてはセンター方式のみが補助金受託対象として認可されてきたことから考えると、今後は保育所型病児保育や非施設型など様々な形態の事業を含めて「病児・病後児保育事業」へと統合される可能性が予想されます。

本来、子どもを病児、病後児と分けるのはほとんど無意味なことは、現場を知るものにとっては明らかです。病気の子どもの保育する場合においては、子どもの病期そのものではなく、そのリスクマネジメントのあり方が強調されるべきです。地域医療機関との連携や病状変化時のサポート体制のシステム化が必須です。緊急対応マニュアルを作成し、日頃から研修を行って備えを十分におこなねばなりません。

協議会研修委員会では研修プログラムを作成していますが、今後

全国やブロックでの研修システムを構築していくことになります。また、調査研究委員会では、病児・病後児保育リスクマネジメントの標準化に向けてインシデントレポートシステムのパイロット調査を行う予定です。先の総会では、運営委員会を執行機関と位置づけ、運営委員会の元に地方支部を設けることが決定されました。ソフト交付金となり地方格差が生じる可能性が高まる中、運営委員会からの迅速な発信と全国各地地方支部からの情報収集が欠かせません。広報委員会は協議会ニュースの発行とHP運営を主な手段として、協議会内外へアプローチしてもらいます。常任協議員による委員会活動が充実するように、3名の副会長には各委員会を分掌担当していただくことにいたしました。

今後、全国で展開している本事業の現状とスタッフの意識を協議会活動として反映させるためにも、会員組織率を高める努力が求められます。会則規約を整備充実させて、これに対応していくつもりです。多くの課題をかかえ、順風満帆とはとても言えない船出ではありますが、会員の皆さま方のご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

加盟施設紹介

わんぱくこどもクリニック  
病児保育室 ままぼけっと

「ままぼけっと」は医療機関併設型の病児保育室で、平成18年4月に「わんぱくこどもクリニック」の開業と同時に2階部分に開設しました。

定員は4名で、生後6ヶ月から小学校3年生までの子どもたちをお預かりしています。隔離が必要な子どもの受け入れも可能にするため、3つの保育室と隔離専用のトイレがあり、子ども達一人ひとりの病状に合わせてきめ細やかな対応ができるように、医師、看護師、保育士が連携をとっています。また、子ども達の不安な気持ち

を丸ごと包み込んであげられる愛情の安全基地となるよう常に心がけています。

開設してまだ日の浅い病児保育室ですが、地域に根付き、保護者・子ども達に必要とされる場になるよう、看護・保育を行っていきたいと思います。

保育士 工藤 良子  
所在地 :020-0851  
岩手県盛岡市向中野字千刈田 66-1  
TEL:019-631-1160



千野保育園病後児保育室  
さくらんぼ

当施設は、甲州市からの委託を受けて平成17年5月1日に開設したばかりの施設です。山梨県では初の病後児保育施設である為に、市民・医師への周知に只今奮闘中です。

市民への周知が遅れてしまい、開設した17年度の利用児数は40人程度と少なかったのですが、2年目の18年度は8月現在ですすでに昨年利用数までとなりました。

利用した保護者からの口コミや広報活動がやっと市民へ届き始めたので、これからもいろいろな形で情報提供していけるように努力

したいと思っています。県内に同じような施設が少ないために県外の諸先輩方に相談しながらやっと現在の状態を保っています。「子育て支援である」ということを第一に考え看護師・保育士、力を合わせて保護者・子ども達の為に頑張ります。保育士 佐藤 暁美  
所在地 :404-0041  
山梨県甲州市塩山千野3653  
TEL:0553-33-2624



すくすくこどもクリニック  
すくすくの森

保育室が開設され、あっという間に1年が過ぎました。「事故が起こりませんように」、そればかりを祈っていたように思います。

利用書類の確認、病状把握や日常生活の問診で時間を要し、親御さんには、随分、お手間をかけました。

また、過度な遊びの制限など、子どもたちにも窮屈な思いをさせてしまったことでしよう。

しかし、そんな未熟な私達に対し、親御さんの多くは、快く協力してくださいました。子どもたちも、元気に

楽しそうに笑って過ごしてくれました。

お母さんと離れている間、こども達が、やんちゃできる場になれるといいなと思っております。

これからも研鑽を積んでいく所存です。皆様、ご協力よろしくお願ひいたします。

赤星 真子  
所在地 :471-0014  
愛知県豊田市東山町2-2-9  
TEL:0565-87-3939



増田クリニック  
あひるハウス

あひるハウスは、平成16年7月、熊本県人吉市より委託を受けて、医療機関併設型として増田クリニック小児科の2Fに開設されました。

プレイルームの他に隔離室3部屋。定員は2名ですが、最大4名もしくはそれ以上、その時の状況に応じて受け入れています。

開設以来心がけてきたことは、よりよい保育看護はもちろん、保護者の方とのコミュニケーションをしっかりとることです。保護者の方からの話を聴き相談にのることで、病児保育を通して育児の手

助けができていければと思って取り組んでいます。丸2年が経ち、年々利用者の数も増えています。

これからも保護者の方との信頼関係を築きながら、安心して預けられる病児保育室として地域に根ざしていきたいと思います。保育士 西田 綾子  
所在地 :868-0035  
熊本県人吉市五日町44  
TEL:0966-22-3570



## 新 常 任 委 員 の 抱 負

☆  
いなみ小児科附属病児保育室ハグルーム

稲見 誠

この度、常任評議委員をお引き受けすることになりました世田谷区の稲見と申します。3年前に世田谷区からの委託を受け診療所の隣に病児保育室を併設しております。実際の利用数と、キャンセルとキャンセル待ちとのハザマで頭を悩ませている毎日です。しかし、子どもの視点に立ち、子どもがゆったりと安心して過ごせるような病児保育を実践して行きたいと常に思っています。

今年度は関東ブロック会事務局も担当し、現在、関東ブロック大会を間近に控え、参加人数の多さに嬉しい悲鳴をあげる反面、規模が大きくなってしまい、今後のブロック会のあり方を考える機会となりました。せっかく多くの参加者が集まるようになったのですから、いい方向に向くにはどうしたらいいのか、試行錯誤しながら東奔西走する毎日です。

また最近、派遣型などの一部の実績だけを重視したものに多少の危惧も抱いております。もちろん、私一人の力では微力ではありますが、少しでも病児保育の発展のお手伝いができればと思っております。みなさま、よろしくお願い致します。

☆  
望之門保育園病気あけ保育室のんたんルーム

浦野 不二恵

この度、常任協議員委員に選出されました大阪市の保育所型『病気明け保育室のんたんルーム』の浦野です。のんたんルームは15年前法人の独自事業として始められ、協議会立ち上げに時期から大変お世話になり、いろんな事を教えていただき、今日に至っています。

協議会は当時少数派であった私たち保育所にとって「保育所がどのように病児保育に取りくんでいくべきなのか」という方向性を指し示してくれる大きな存在であったように思います。こうして事業が継続し、又受託できましたのも協議会の存在なしには考えられなかったと思います。

今後も大きく広がりました全国の仲間と共に病児保育の更なる発展拡大のためにご指導を賜りながら、微力ながら頑張りたいと思います。若輩者でこのような大役が務まるのか、大変心配しておりますがどうぞよろしくお願い致します。

☆  
まなこどもクリニックポピンズルーム

原木 真名

このたび常任委員をお引き受けさせていただきました、千葉県原木と申します。小児科医院併設の病児保育室〈ポピンズルーム〉を平成10年に開室しました。小児の地域医療と病児保育を通して、子どもたち

の育ちに少しでも深く関わっていききたいというのが私の願いです。

開業以来、病児保育協議会の先生方には本当にお世話になって参りました。

研修会に参加するたびに、病児保育にたずさわの方々の子どもたちへの温かいまなざしと情熱に感動します。

私のような未熟者に常任委員の大役が勤まるのか、はなはだ心細いのですが、少しでも諸先輩の境地に近づけるよう努力を重ね、今まで学ばせていただいたものを、今後につなげていきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

☆  
八尾徳洲会病院

神原 雪子

今回常任協議委員および広報委員長をさせていただくこととなりました。みなさまどうぞよろしくお願い致します。

私は病院の勤務医ですが、自分の子どもが病気の時にとっても困っておりました。そんな時に保坂先生の記事を拝見し、なんとすばらしい制度があるのかと感銘を受け病児保育をやろうと志しました。そして全国病児保育協議会、諸先輩方々のご助言・ご指導、研修などに支えられ現在にいたっております。今後病児保育が推し進められる中で、全国病児保育協議会の役目もさらに大きなものとなると考えられます。今回広報委員として病児保育を広く啓蒙し、子どもたちのためによりよいものとなるようみなさまと協力して尽力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

☆  
きらら保育園

森田 倫代

平成12年10月に横浜市で初めての保育所併設型の病後児保育室を開設いたしました。当初、わからないことも多く、この全国病児保育協議会の研究大会に参加させていただいて研修による勉強をすることができ、また、いろいろな施設の方とお話することができました。行政自体も「走りながら考えていく」という姿勢ではじめていたのでいまだに課題も多く残っています。全国的に保育所型は年々増加しています。また、横浜市でも医療機関併設型が増えています。その中で、病(後)児保育のありかたはまだまだ検討していく必要を感じております。

この度常任委員に就任し、保育所型と医療機関型や単独施設の現状や取り組み方にそれぞれの特徴があることを認識いたしました。それぞれが工夫を凝らし取り組んでいます。保育所型の現状を知っていただくと共に今後どのように取り組んでいったらよいかを考えていきたいと思っております。力不足ではありますが、よろしくよろしくお願い致します。



## 地方支部支部長一覧

都道府県	氏名	施設名	都道府県	氏名	施設名
北海道	藤本 征一郎	天使こども デイサービスセンター	滋賀県	高橋 良明	たかはし小児科病児保育室 ぞうさん
青森県	松原 徹	城東こどもクリニック ことりの森	奈良県	出川 裕一	(社) 裕愛会せいか保育園 「キャロット」
岩手県	山口 淑子	山口クリニック キッズケアルーム風船	京都府	浅妻 典子	浅妻医院乳幼児健康支援デイ サービスセンターパピールーム
秋田県	岸 登	湯沢乳幼児健康支援センター 病後児保育室	大阪府	浜本 芳彦	浜本小児科病児保育室
宮城県	高田 修	たかだこども医院	兵庫県	井口 優子	病児保育室ほっけ
福島県	佐藤 康次	(医) 新生会 佐藤病院 病児保育所さくら	鳥取県	谷本 弘子	病児看護センター ベアーズデイサービス
栃木県	福田 哲夫	福田こどもクリニック とらいあんぐる	岡山県	青木 佳之	(医) 青木内科小児科医院内 山陽ちびっこ療育園
群馬県	竹内 香代子	吉岡町乳幼児健康支援 デイサービスセンター	山口県	阿武 義人	(医) 青藍会 ハートアイランド山口
埼玉県	中里 豊	(医) 共育会 病児保育室 あすなる	徳島県	水井 三雄	病児保育室「こどもの城」
千葉県	原木 真名	まなこどもクリニック ポピンズルーム	香川県	西岡 敦子	西岡医院 病児保育室 レインボーキッズ
東京都	稲見 誠	いなみ小児科附属病児保育室 ハグルーム	愛媛県	向田 隆通	おかいだ小児科 キッズハウス
神奈川県	池田 奈緒子	エンゼル多摩	高知県	島本 早智子	うららか保育園内病 (後) 児保育室ラベンダー
新潟県	竹山 功	竹山病院 キッズルームたけの子	福岡県	松本 壽通	福岡市早良部病児 デイケアルーム
富山県	山崎 美和子	(社) わかくさ保育園 もみじの家	佐賀県	樋口 善久	(医) 優健会 樋口医院
石川県	山田 優子	健生病児保育室ほっとルーム	長崎県	前田 秀典	病児保育ぞうさんルーム
福井県	深谷 憲一	(医) 深慈会ひかり病児保育園	熊本県	前田 利為	レインボールーム
愛知県	松川 武平	プチポケット	大分県	藤本 保	大分こども病院 キッズケアルーム
岐阜県	福富 悌	福富医院 病児保育園	宮崎県	木本 宗雄	(社) 杉の子福祉会 おやこの森
三重県	熱田 裕	津病児デイケアルームひまわり	鹿児島県	池田 琢哉	池田病院チックタック童夢館

※県名の無い県は、支部長が未決定の県です。

## 東 西 南 北 ブ ロ ッ ク 便 り

**近畿南ブロックから  
第7回近畿ブロック南学習交流会  
海の子学園げんきっこホーム 長谷かおる**

今回は、平成18年5月13日(土) 児童養護施設入舟寮の中にある当施設を会場に学習交流会を開きました。

まず、『病児保育室のケアプラ

ンを考える視点について』をテーマに、グループ討議を行いました。病児保育室は、通いられない場所に見慣れないおとなや子どもたちと体調のすぐれないときにすごし

ます。そのような状況にある子どもたちが、健康を回復できるよう支援するために、必要な情報はなにか、具体的な対策はなにか、ということ各施設で使用している登録票や連絡票、案内のしおりなどを持ち寄り、話し合いました。ケアを考える上で多くの共通した視点もありましたが、個人情報保護とともに適切に使用することの説明、急変時の対応についての承諾(例えば、診察や薬の処方)

# 東 西 南 北 ブ ロ ッ ク 便 り

など、幅広い視野に立つことが必要であると再認識しました。参加は19施設8名、病児保育室をはじめ1年目の施設から10年以上開室しているところとさまざま、お互いの現状や課題など話し始めると、討議の時間はまだまだ必要でした。アンケートからも



「もっと話し合いたかった」「時間が短すぎた」との意見が寄せられました。

また、八尾徳洲会総合病院小児科神原先生に『予防接種』について、変更になったMRワクチンをはじめ、現在行われている予防接種のこと、そして病児保育室で保育看護にたずさわる職員の健康管理など、わかりやすく説明をしていただきました。参加者から「自分自身が感染源になることもあると聞いておどろきました」「保護者からの質問にも対応できそうです」との感想が聞かれ、病児保育室は利用中の子どもへのケアだけ

でなく、利用者の利用後の健康の保持増進も視野に入れて支援していくことが必要と実感しました。

これからも病児保育室でより質の高い保育看護が行えるよう、幅広い視野にたって、学習交流会をもっていきたいと思います。



## 愛知ブロックから

### 第1回あいちブロック学習交流会

なずな病児保育室 前田敏子

第1回あいちブロック交流集会をH18年9月9日名古屋市の松川クリニックで開催いたしました。豊明市、豊田市、春日井市、知多郡東浦、名古屋市の8施設(うち2施設は開設予定)より32人の参加がありました。

まず、支部長の松川先生の「病児保育の理念、心をはぐくむ保育とプチポケットの紹介」の講演がありました。そのあと、プチポケットの見学をしました。病室を転用されており、手作りのアットホームな雰囲気を感じ取れる保育室でした。

そこここでの歓談のあと、初顔合わせなので、参加者の自己紹介と施設紹介、各地の行政の対応紹介となりました。参加施設は名古屋市の3施設を除いて行政からの委託をうけている施設でした。

知多郡東浦町フィロスの前田先生より施設と保育実績の資料を提示していただきました。小さな町での病児保育の現状や定員オーバーの受け入れをした場合は補助金没収という行政の対応がわかりました。

春日井市のくまちゃんでは、私的契約を公認されていて、定員

オーバーをした場合は私的契約で受け入れ可能だとのことでした。

豊田市のすすくの森では医師会と行政とのからみで小回りが効かず、当日受け入れが困難であること、保育室の看護師のクリニックとの兼務は認められていないなどの矛盾がだされました。

名古屋市のここにこでは近隣の保育園が病後児を受け入れていることと補助金助成がないぶん保護者の負担が大きく運営が大変であるとのことでした。

各市町村の対応の違いを伺い、実際の運営にはいろんな困難が伴うことをつくづく考えさせられました。ついで、感染症どこまで隔離するかという討論にはいりました。まず、「なずな病児保育室利用者の感染症統計」を話題提供としてださせていただきました。隔離状況は各施設それぞれ違っており、各医師によっても隔離の考えかたが異なっており、それが混乱を招いたり、苦情のもととなっているようでした。公平性を保つため要隔離児の連日の保育の日数制限をしている保育室もありました。感染症の隔離について、病児保育協議会でのガイドラインがあ

ればもう少しスムーズにいくのではないかという意見もだされました。入室児の大半が感染症であることより病児保育室での隔離は永遠の課題だと思われ、今後も討論を重ねて深めたいと思いました。次の討論は受け入れ時の保育についてでした。朝の慌しいなかでの児の受け入れをどのようにしているかについては、時間を分けて混乱をさせている施設や、保育室以外のスタッフも補助に入って受け入れている施設などいろいろ工夫がなされていました。時間の制約のあるなか討論をかさねるなか終了となってしまいました。今後、年2回の開催を決め、次回4月を約束して会の終了となりました。松川先生の手作りのログハウスの見学もさせていただいたあと散会いたしました。

なんとか無事開催できたのも皆さんのおかげと感謝しております。あいちブロック交流集会これからも継続していきたいと思っております。



# 診察室から 8

病児保育室「バンビ」

医師 増田 宏

—小児科クリニックでの医療保育(最終回:プレイセラピーとまとめ)—

まず小児科では、不登校やチック症などの心の病気を持つ子どもや自閉症の子どもに対する心理相談を行っています。

当院では親子並行面接の形態を取っており、カウンセラーと親との面談の間、別室のプレイルームで子どもにはプレイセラピーを行います。自分から言葉で表現できない子どもの悩みや問題点は、その子の遊びの中で表現されます。

プレイセラピーとは、子どもの気持ちに添うことでセラピストとの信頼関係を築き、遊びの中で児童の自己表現、自己実現を達成してゆく手法です。保護者のカウンセリングには、専門のカウンセラーがあたりますが、児童のプレイセラピーを行うのは保育士が適任ではないかと考えています。子どもは保育士とすぐに仲良しになります。

カウンセラーと保育士が協力することにより、より効率よく治療を行うことが可能になります。そのため、定期的に医師とカウンセ

ラーと保育士が集まりカンファレンスを持ち、個々の症例に対する検討を行っています。

保育士がプレイセラピーを行うことに、もう一つ別の意味もあります。心の問題を持つ子どもは、時として遊び方も変です。問題が解決に近づくとき普通の子どもの遊びに変わって行きます。箱庭療法もしばしば行いますが、そこでは、独特な世界が形作られることが少なくありません。治療により、箱庭に落ち着いた世界が出現するようになります。その過程を見ることが、保育士にも学習になります。

その経験は、病児保育や外来保育の中で、子どもの心の問題に気づくものさしになります。「あの子、何か変」という印象は、心の問題の早期発見につながります。早く手を差し伸べてあげれば、行動異常が明らかになる前に治療が可能になるかも知れません。

保育士が外来で子どもの世話をするという事は、ただ待ち時間を退屈させないというだけの意味

では決してありません。

診療介助、待合保育など、医院での保育活動を通して、保育士が子どもや保護者に接するとき、細やかな対応や配慮が出来、保育場面でも役立っていると実感されます。主役が子どもである小児科だからこそ、保育士にしかできない環境作りや対応があると思います。

これからの小児科は、ただ病気の子どものみに対する治療を行うだけでなく、地域での子育てを支援する場所になる必要があると思います。当院では、医師と看護師と保育士と事務員とカウンセラーがチームを形成し、様々な対応ができるようになることを目指しています。将来は、それが一般的な小児科クリニックの姿になると考えています。そして、そのような小児科の中心にいるのは、医師ではなく保育士だと思ふのです。

「保育士は、病児保育室からクリニックに出ましょう。」

## 11月～保育日誌 8

病児保育室こひつじ

保育士 清水 麻利子

### 秋の遊び「フルーツ狩りをしよう」

①画用紙に切り込みを入れておき、そこにフルーツを差し込みます。

☆フルーツの画用紙の裏に、牛乳パックでひっかけを作ります。

②広告を丸めて作った棒に四角い厚紙をつけて、それを下からすくうようにひっかけ、お目当てのフ

ルーツをゲットします。ダンボールで作った木を子ども達の背の高さに合わせて高くしたり、低くしたりして意外なテクニック?で収穫を楽しんでいます。

③カゴに収穫したいばいのフルーツを満足そうな笑顔で保育士に見せてくれますよ。

④そのフルーツを使って、おままごと・遠足ごっこなどに発展していきます。

⑤その日のおやつに、本物のフルーツがでてくると子ども達は大喜びです。

☆画用紙で作ったフルーツをラミネートして丈夫にしておくと、カゴや棚などどこにもひっかけて乳





児でも楽しむ事ができます。

●秋の収穫を楽しんだ後、それに魔法??をかけて小さくして「フルーツフレーム」「フルーツかばん」を作り、部屋に飾ると秋をたっぷり感じることができます。



### 地域に向けての遊びの企画「ふれあいのじかん」

月に一度、ボランティアさんに来ていただき、地域の親子を対象に「ふれあいの時間」を1時間、開催しています。うんと楽しんだ後は、「こひつじ見学&説明会」を15分程行います。大学生の人形劇サークルやペンシルバルーン

ボランティアさんなどによる楽しい時間を過ごし、普段の保育の質の向上にもつながっています。※過去のボランティアさん=手作り玩具、影絵、リトミック、手品、人形劇、ペンシルバルーンなど



### 「こひつじミニ夏祭り」

こひつじは地域のお祭りに積極的に参加しており、中でも「こひつじミニ夏祭り」はクリニックの

駐車場を利用して地域子ども達もたくさん遊びにきてもらっています。

長い間こひつじの遊びを紹介してきましたが、今回は最後となりました。みなさん、ありがとうございました。病児保育という小さな施設ではありますが、地域やたくさんの人々とのふれ合いを通して病児保育のあり方や保育の質が豊かなものになると実感しています。これからもたくさんのお会いを大切にがんばっていきたいと思います。



### 新規加入の全国病児保育協議会施設

370 ◆中間市立さくら保育園  
病後児保育室びよびよルーム  
園長 弓削 稔  
〒809-0011

福岡県中間市岩瀬1丁目7-14  
TEL:093-245-7775 FAX:093-245-7783

371 ◆病児デイケアわらべ  
理事長 斎藤 孝  
〒916-0033

福井県鯖江市中野町12-8-1  
TEL:090-3765-0593 FAX:0778-53-1597

372 ◆鳳紀会 可知病院  
小児科医 可知 薫  
〒442-0854

愛知県豊川市国府町茶ノ休44-1  
TEL:0533-88-3331 FAX:0533-88-3332

373 ◆杉村病院附属病後児保育室キンダーハウス  
理事長 杉村 邦明  
〒860-0811

熊本県熊本市本荘3丁目7-18  
TEL:096-372-3322 FAX:096-371-0886

374 ◆医療法人やまもと小児科  
病後児保育室アイアイ  
理事長 山本 尚  
〒524-0045

滋賀県守山市金森町672  
TEL:077-581-2380 FAX:077-581-2376

375 ◆さうだーで  
管理者 篠永 安秀  
〒567-0851

大阪府茨木市真砂1-2-36 篠永医院  
TEL:072-630-4556 FAX:072-630-4556

376 ◆愛育ちびっこハウス  
院長 石原 義紀  
〒910-0833

福井県福井市新保2-301  
TEL:0776-54-5757 FAX:0776-31-5701

377 ◆こども静養室めぐのへや  
医師 矢澤 智子  
〒203-0052

東京都東久留米市幸町4-10-16 コーポモリヤ102  
TEL:042-470-7676 FAX:042-470-7677

378 ◆コアラの家  
園長 雨宮 孝信  
〒409-1313

山梨県甲州市勝沼町下岩崎1731-3  
TEL:0553-44-1524 FAX:0553-44-5134

379 ◆病後児ケアハウス♡こすもす  
園長 佐野 芳信  
〒886-0004

宮崎県小林市大字細野2018番地  
TEL:0984-23-5204 FAX:0984-23-5094

380 ◆つわぶき保育園病後児保育室さくらんぼ  
理事長 石井 尚吾  
〒690-0046

鳥根県松江市乃木福富町318-1  
TEL:0852-60-1818 FAX:0852-60-1817

### 好評販売中です

#### 「必携 新病児保育マニュアル」

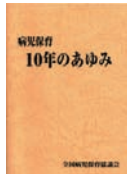
- B5版 378頁
- 価格 1冊 会員3000円 (送料・税込み)
- 非会員4000円 (送料・税込み)



病児保育に関する事がすべて網羅されたバイブル的マニュアルです。一人に1冊持っていたきたい必読書です。

#### 「病児保育10年のあゆみ」

- B5版 104頁
- 価格は 1冊1600円 (送料・税込み)



全国病児保育協議会設立10周年を記念して発行され、設立当初からの歴史を網羅しました。  
※ご購入は、全国病児保育協議会のホームページより申込書をダウンロードしてFAXにて全国病児保育協議会事務局までお申し込み下さい。

「施設紹介コーナー」「東西南北ブロック便り」を連載中！加盟施設のみなさん原稿をどしどし送ってください。また、各施設で特に取り組んでいることや楽しい出来事などがあれば、紹介させていただきます。原稿をお待ちしています。

#### <協議会ニュース 編集事務局>

〒531-0076 大阪市北区大淀中3丁目15-5  
(株)関西共同印刷所内 藤本 文孝 宛  
TEL:06-6453-3675 FAX:06-6442-5788  
E-mail fumifumi1@cronos.ocn.ne.jp

### 事務局交代のお知らせ

平成18年7月開催の第16回総会で会長が、大分市の藤本こども病院の藤本保先生から大阪市中野こども病院の木野稔先生に交代しました。これにより会則に従い事務局も交代する事になりました。平成18年8月1日より全国病児保育協議会事務局は、中野こども病院内に移転いたしました。  
従来とかわらずがんばって参りますのでご協力のほどお願い致します。新事務局の連絡先は、下記に掲載しています。

### 通信欄

会員の皆さまからのお便り・質問等をFAXやメールでお送りください。直接回答させていただいたり、ニュース等に掲載させていただきます。  
送付先：FAX 06-6442-5788、メール fumifumi1@cronos.ocn.ne.jp 広報の藤本まで。

-----  
-----  
-----  
-----  
-----

#### 新規加入の全国病児保育協議会施設

- 381 ◆ NPO 法人唐津市子育て情報センター  
病後児保育しろくまくん  
理事長 岩本 剛人  
〒847-0013  
佐賀県唐津市南城内 2-10  
TEL:0955-65-7501 FAX:0955-72-2218
- 382 ◆ ままぼけっと  
院長 金濱 誠己  
〒020-0851  
岩手県盛岡市向中野字千刈田 66-1  
わんぱくこどもクリニック内  
TEL:019-631-1160 FAX:019-631-1162
- 383 ◆ みどりが丘クリニック わかば保育室  
医師 神之浦 潔  
〒853-0033  
長崎県五島市木場町 570-4  
TEL:0959-75-0620 FAX:0959-75-0621
- 384 ◆ 社会福祉法人光久福祉会  
梅の里保育園梅の里ケアルーム  
園長 辻 初美  
〒584-0001  
大阪府富田林市梅の里 1-2-5  
TEL:0721-23-4555 FAX:0721-23-6555
- 385 ◆ 稗田保育園 とっこのもり  
園長 久松 伸寛  
〒889-1903  
宮崎県北諸県郡三股町稗田 31-6  
TEL:0986-52-5889 FAX:0986-52-3779
- 386 ◆ 清水小児科病児保育室かごめかごめ  
施設長(医師) 清水 精子  
〒264-0002  
千葉県千葉市若葉区千城台東 3-31-2  
TEL:043-237-6660 FAX:043-237-6660

これ以降の加盟施設は次号で

#### 全国病児保育協議会事務局

〒535-0022 住所：大阪市旭区新森 4-13-17 中野こども病院気付  
担当：藪田・堀込 電話：06-6952-4778 FAX：06-6954-8621